

2026

9

17

Thu

20

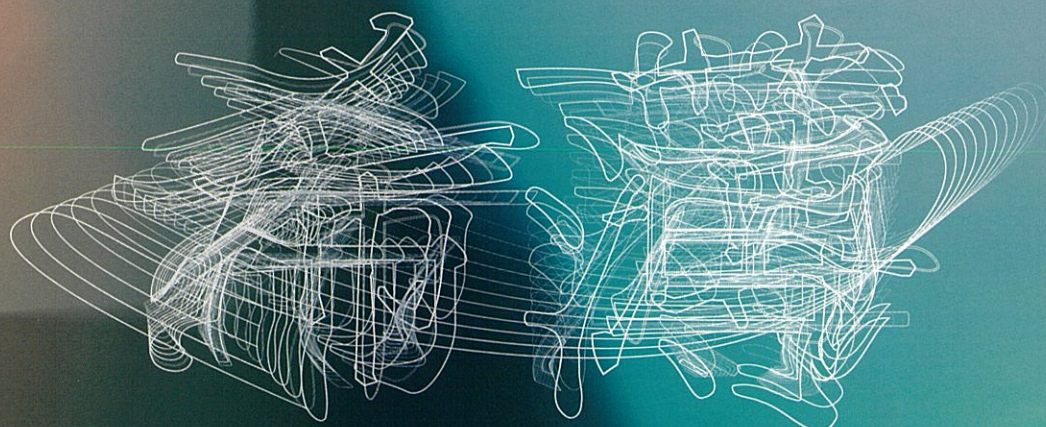
Sun

加村真美
三本木大輔
菅原茉椰

相川奈央
谷口めぐ
まなまる
東拓海
田辺奈菜美

丸山敦史

矢島舞美



脚本・演出：日野祥太

彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

PandemicDesign × img

2018年に上演された『希薄』の同タイトル続編にして完全新作。

15年という時間は、何を薄め、何を残したのか。

東日本大震災後を生きる人々の現在を通して、失われたものではなく、残り続けるものを描く。

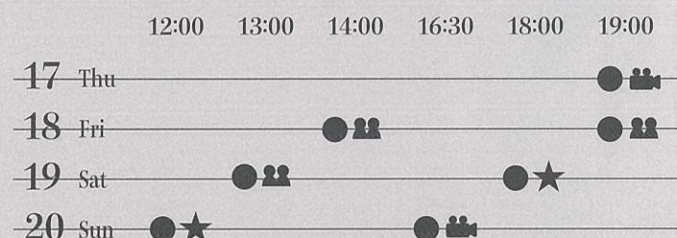
PandemicDesignとimgが贈る、記憶と不在をめぐる物語。

なくしたものにだって、今日は来る。

出演

加村真美 三本木大輔 菅原茉椰
相川奈央 谷口めぐ まなまる 東拓海 田辺奈菜美
丸山敦史 矢島舞美

公演日時 2026年9月



開演1時間前受付開始 開演30分前客席開場

● 配信 ※お客様の後ろ姿、声が入る場合がございます

● キャストアフタートーク ★ アフターイベント

劇場 彩の国さいたま芸術劇場・小ホール

〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1

JR埼京線与野本町駅 西口 徒歩12分

チケット

VIP 席 / 特典あり	30,000 円
SS 席 / 特典あり	11,000 円
サイド SS 席 / 特典あり	10,000 円
S 席 / 特典あり	8,500 円
A 席	6,500 円
B 席	2,500 円

チケット販売

TicketMe



希薄 脚本・演出 日野祥太 (PandemicDesign)

わたしは、あの日、そこにいなかった。
わたしは、きっとこの物語の中では、
主人公ではない。
主人公の衣裳は、わたしが勝手に袖を通していいものじゃない。
あの日引かれた境界線で一変したすべてが、
いま、
間違いない。当たり前前の日常。になった。
父がいない毎日が私の日常になって、
再建した自宅が私の家になった。
ああ、
覚えるのに苦労した新しい住所も、今ではすらすら書ける。
これを「風化」と一括りに語ることだけは、私は明確に拒絶したい。
と主人公が言ってくれたことで、
ぼくはこの物語を、書けたんだと思う。
このあらすじを使って。
感謝します。

スタッフ

脚本・演出：日野祥太 (PandemicDesign)
劇中歌：湯木慧
舞台監督：澤井克幸 (黒組)
美術：多賀慧 (黒組)
演出部：山本依月 (黒組)
音響プラン：佐野貴史 (DISCOLOR Company)
音響オペレーター：中山みずき (DISCOLOR Company)
照明：阿部将之 (LICHT-ER)
照明オペレーター：関口詩葉
演出助手：平野紗貴
衣装：上杉麻美 (dexi)
衣装進行：河野瞳 (dexi)、小嶋優心 (dexi)
ヘアメイク：飯塚美加、菅原乃愛
ヘアメイクアシスタント：佐保愛花
スチール：朝比奈里奈
宣伝美術：文目ゆかり
宣伝美術補佐：つづきみれい
撮影：米澤郁弥 (STUDIO CARNET)
LP 製作・宣伝：ashimo design
アンダースタディ：葉月咲良
票券・当日運営：潮田壘
制作協力：株式会社 NAIKON

製作：OWL・Go×En・PandemicDesign
企画・製作：img

メインスポンサー

GOLD! Project